



かみさと



議会 だより

- ◇3月定例会の審議状況 …P 2
- ◇3月定例会一般質問に8人 …P 5
- ◇6月定例会会期日程等 ……P14

初夏の陽ざしを浴びて



87

シバザクラ (南五明)
宮・五明線沿い

第1回 3月 定例会

3月5日~23日

令和2年度一般会計・特別会計・企業 会計の当初予算を可決！



3月定例会は、3月5日に開会され、議員8名の一般質問と令和2年度当初予算を中心とする町長提出議案35件他を審議して23日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

◆ 条 例 ◆

要旨 上里町監査委員に関する条例及び上里町水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 上里町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例

要旨 職員として任用される際に行うサービスの宣誓について、会計年度任用職員に関する規定を新たに整備するものです。

要旨 上里町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 会計年度任用職員制度の規定が加わったことにより、

従来の公務災害補償の規定に加え、報酬が日額で定められている職員また、給料を支給される職員等についての規定を新たに整備するものです。

要旨 上里町特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 農業委員会による、農地等の利用の最適化の推進活動及び実績に応じた報酬として「予算の範囲内で町長が定める額を加えた額」を加えるものです。

要旨 上里町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

要旨 第1号会計年度任用職員について、時間外勤務手当に係る規定等を整備するものです。

要旨 上里町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

要旨 管理職職員が、災害への対処等で休日等に勤務した場合の手当を支給するための改正を行うものです。

要旨 上里町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

要旨 第2号会計年度任用職員の給料及び各手当に関する規定について改正を行うものです。

要旨 上里町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

要旨 上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 放課後児童クラブに配置が必要な放課後児童支援員について、資格取得に必要な研修を受講していない「みなし支援員」に係る経過措置を5年延長する改正を行うものです。

要旨 上里町営住宅条例の一部を改正する条例

要旨 上里町水道事業給水条例の一部を改正する条例

要旨 指定給水装置工事業者の指定に更新制（5年）が設けられたことにより、事業者が更新の申請をする際、手数料を徴収する旨を明記するものです。

要旨 上里町町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例

要旨 町長等の町に対する損害賠償責任の免責額等について規定するものです

上里町職員の配偶者同行休業に関する条例

要旨 職員が外国で勤務等をする配偶者と生活を共にすることを可能とする地方公務員法第26条の6の規定に基づく配偶者同行休業に関する条例を制定するものです。

◆ 道路線廃止認定 ◆

上里町町道路線の廃止

要旨 道路形状がなく、払い下げの予定のある2路線を廃止するものです。

上里町町道路線の認定

要旨 道路用地の寄附採納により7路線を認定するものです。

◆ その他 ◆

児玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協議

要旨 協定書別表に掲げる施設について除外及び追加、名称の変更をするものです。

◆ 人事 ◆

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

要旨 任期満了となる人権擁護委員について再任の推薦に意見を求めるものです。

◆ 補正予算 ◆

令和元年度上里町一般会計補正予算(第5号)

要旨 歳入歳出それぞれ2億6600万9千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ98億1492万円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・公共施設等用地取得及び施設整備基金積立金
2億194万1千円

・教育施設整備基金積立金
2億5504万6千円

・障害者福祉事業
1736万6千円

■この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

■令和2年度一般会計、特別会計、企業会計の7会計を慎重審議のうえ可決しました。なお、予算の概要については、「広報かみさと4月号」に詳しく掲載してありますので、省略いたします。

◆ 請願・陳情 ◆

種苗法改定の取りやめを求める意見書の提出を求める陳情

令和2年度一般会計・特別会計・企業会計 当初予算集計表

(単位：千円)

| 区分 | 会計名 | 令和2年度予算額 | 令和元年度予算額 | 増減率 |
|------|----------|-----------|-----------|-------|
| | 一般会計 | 8,827,800 | 8,845,500 | △0.2% |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 2,814,070 | 2,857,475 | △1.5% |
| | 介護保険 | 1,837,572 | 1,827,688 | 0.5% |
| | 後期高齢者医療 | 310,958 | 290,693 | 7.0% |
| | 農業集落排水事業 | 18,262 | 16,681 | 9.5% |
| 企業会計 | 水道事業 | 918,802 | 920,661 | △0.2% |
| | 下水道事業 | 512,198 | 456,022 | 12.3% |

※水道事業及び下水道事業は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

3月定例会 議案に対する各議員の賛否

| 議案 | 議員名 | | | | | | | | | | | 新井 實 | 結 果 | | |
|---|--------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|
| | 黨 浩之 | 高橋茂雄 | 高橋勝利 | 飯塚賢治 | 仲井静子 | 猪岡 壽 | 齊藤 崇 | 植原育雄 | 植井敏夫 | 高橋正行 | 納谷克俊 | | | 沓澤幸子 | 高橋 仁 |
| 上里町監査委員に関する条例及び上里町水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町管住宅条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町水道事業給水条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町職員の配偶者同行休業に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町町道路線の廃止 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 上里町町道路線の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 児玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 令和元年度 | 上里町一般会計補正予算（第5号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 長 | 可決 |
| | 上里町国民健康保険特別会計補正予算（第4号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 可決 |
| | 上里町介護保険特別会計補正予算（第4号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 可決 |
| | 上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 可決 |
| | 上里町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 可決 |
| | 上里町水道事業会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 可決 |
| | 上里町下水道事業会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 可決 |
| 令和2年度 | 上里町一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 | |
| | 上里町国民健康保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 | |
| | 上里町介護保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | 上里町後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | 上里町農業集落排水事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | 上里町水道事業会計予算について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| | 上里町下水道事業会計予算について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | |
| 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（杉山悦子氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 | |
| 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（齊藤建一氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 | |
| 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（栗原正明氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 | |
| 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（並木勢津代氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 | |
| 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（荒井博之氏） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 | |
| 種苗法改定の取りやめを求める意見書の提出を求める陳情 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | 不採 | |
| 神保原駅周辺の開発と駅舎の建替えに関する要望決議（案） | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | 可決 | |

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。



納谷 克俊

問 台風19号を教訓に

答 一層の防災対策を推進していきたい



質問 1 危機管理体制について

を密にして住民への正確な情報提供などにより、感染症拡大の防止に取り組みます。

問 地震や風水害、火山の噴火による降灰、大雪などの自然災害、工場火災や鉄道・幹線道路における大規模事故、新型インフルエンザや新型コロナウイルス、CSF（豚コレラ）、鳥インフルエンザなどの感染対策、他国からの武力攻撃、大規模テロなど町民の日常生活を脅かすおそれのある様々なリスクに対して、町の体制についてお伺い致します。

問 危機管理面における町長の補佐役として、地域防災マネージャー有資格者を危機管理監として採用することを提案します。

答 職員を育成し、求められている資格を取得させることに取り組んでいくとともに、消防OB、自衛官OBの採用についても併せて検討していきたいと思っております。

答 防災対策や災害時の指揮命令系統の確立など、災害を最小限に食い止めることを最優先に考え、防災、防犯、消防に加え、交通安全、生活環境を専門とした課を設置し、町の組織体制の強化を図ってきました。

問 台風19号における避難について避難行動要支援者名簿が作成されて、区長さんや自主防災組織等に配布されたら避難の手助けが出来たと思うので取り組んでいただきたい。

答 民生・児童委員さんには、地域支え合いマップを基に声掛けを実施していただき、要配慮者を避難所へ誘導する支援ができた方もおられました。しかしながら、行政区長や自主防災組織に連絡が取れず、

十分な対応ができなかったことなど、反省しなければならぬ点もありました。

区長会役員会、総会で協議を重ね、区長会の緊急連絡網の作成や情報共有など、今後の活動にいかしてまいります。



台風19号避難所の様子

問 台風19号時、災害対策本部は当初予定されていた場所に設置されたのか、また、配置備品も整備されていたのでしょうか。

答 くらし安全課を中心とした2階に設置しました。配置備品については概ね用意できたものの衛星電話など、用意できないものもありました。計画的に備えていくよう

にしていきたいと思います。

問 災害関連情報の住民への周知にアラートは活用されたのでしょうか。

答 使用しました。

質問 2 クビアカツヤカミキリによる被害対策について。

問 町内への侵入・被害の確認・報告はあるのでしょうか。また、被害の確認・拡大防止の観点から町として学校や公園などに植栽されているサクラを対象に調査すること、広報誌やホームページ、SNSなどを活用して住民に啓発や調査協力を行うことを提案します。

答 現在、上里町での侵入・被害等はありません。報告があった場合は埼玉県環境科学国際センターで作成した「被害防止の手引き」に基づき、早急に対応したいと考えています。

令和2年5月発行の広報誌やホームページ等で普及啓発を計る予定です。



猪岡 壽

問 町立保育園の令和2年度事業経費は

答 平成30年度実績に対し38%の削減予算

1 町の保育園事業について

問 町の保育園事業は、令和2年4月より、「空の杜保育園」1園に集約したものとなるが、その事業経費と事業収益は、平成30年度実績と比較してどの程度合理化になるか。

答 平成30年度の事業経費は4086万円、保護者負担金等の収入総額は2820万円、不足額の1266万円は町が負担した。令和2年度の予算額は事業経費2509万円、平成30年度実績に対し38%の削減予算となる。保護者負担金等の収入予定額は817万円、不足額1692万円は町の負担となり、平成30年度に対し426万円の負担増となる。

問 令和2年度の収益予算では、平成30年度の収益実績よりも町の負担額が426万円増えて、1692万円になるとの回答だが、これから税収

減少が予測される中、保育園事業の民間移譲等は考えているのか。

答 これからの公立保育園については、健全な運営が出来るよう努めていく。今年度より、定員も絞り民間の保育園の経営に影響しないような官民連携という形で一緒に進めていきたいと考えているのでご理解いただきたい。



町立空の杜保育園

2 町の水道事業について

問 自治体の水道事業経営の厳しい現状については、新聞

紙上やテレビ報道でも、大きく取り上げられているが、隣の秩父広域市町村圏組合水道局管理者の秩父市長は、審議会の答申である一律17.91%の値上げに対し、改定率を圧縮し、不足額を各市町の一般財源で補うとして受益者負担の原則を棚上げした格好だが、上里町の令和3年度に予定されている料金改定について町長の見解をお伺いしたい。

答 上里町の水道事業は、平成22年度の料金改定以降、毎年度の決算では料金が安価の中、黒字を維持しているが、施設更新のための投資が十分とは言えず、今後も40年間で毎年約6億円の投資が必要な状況である。来年度審議会を開催するが、適正な料金改定となるよう検討する。

3 災害対策事業について

問 台風19号襲来後、無堤防地域の勅使河原地区の住民よ

り、早急に堤防を築かれるようお願いしたいとの要望書に対し、国の回答は、利根川水系河川整備基本方針の計画高水流量を達成しているため、30年間で整備する場所ではないという回答であった。しかしながら、地球温暖化による異常気象下ではさらに大型の台風がいつやってくるかわからない。

過去のデータでは想像もつかない災害が発生するかもしれないので、町長にはこれからも無堤防区間の早期築堤を国にお願いしていただきたい。

答 町の考えとしては、今後台風19号を超える河川の増水が起こる可能性がないとは言えないので、無堤防区間の築堤は引き続き粘り強く要望していきたいと考えている。昨年10月16日以降の具体的な要望活動としては、地元国会議員・県議会議員、国交省高崎河川事務所等に実施している。



一般質問

仲井 静子



問 持続可能な民生委員協力員制度について

答 3年後の一斉改選を目指して準備を進める

1 女性の活躍推進について

問 男女共同参画推進センターの機能強化について伺いたい。

答 平成29年7月に実施した男女共同参画に関する意識調査の結果では、性別による固定的な役割分担に対する意識が依然として残っている。男女共同参画社会を実現するためには、社会における制度や慣行の見直し、意識の改革を行うための意識啓発が重要である。そのためには、男女共同参画推進センターを核として町民と行政が協働できるような推進体制を構築し、幅広い分野に向けた事業展開に努めるとともに、有効活用できるように支援していく。

り入れることは、町民福祉の向上のためにも必要不可欠と考えるが。

問 男女共同参画推進センターの機能強化について伺いたい。

答 この制度は、女性が教育・保健福祉・町づくりなどあらゆる分野において、経験や能力を生かすことができ、明確な意見を発信する機会が広がるものと捉えている。令和5年度までに女性委員の登用について40%を掲げている。引き続き公募等により、女性の参画を促進していきたい。

問 男性の育児休業の取得について伺いたい。

答 令和元年12月「国家公務員の男性職員による育児に伴う休暇・休業の取得促進に関する方針」が決定した。男性職員本人や家族にとってだけでなく、職場や社会にとっても意義のある非常に重要な取り組みと認識している。引き続き周知等を行い、取得率向上を図りたい。

2 持続可能な開発目標(SDGs)について

問 持続可能なまちづくりについて伺いたい。

答 各自治体は、急速に進む人口減少や高齢化などもあり、より効率的で水準の高い施策や事業を迫られている。現在町が実施している施策、具体的には子育て支援や高齢者・障害者に対する各種サービス、教育環境の充実、男女共同参画に向けた取り組み、ゴミの減量化、企業誘致や農業・商業・工業の発展や支援、安心・安全に向けた都市基盤の整備等、あらゆる施策がSDGsの理念に合致するが。

問 地域を持続可能性を考えた時に、大きな課題となるのは担い手不足の問題である。民生委員・児童委員の負担軽減、そして担い手不足解消につながるのでは。

答 これから本格化する人口減少・少子高齢化という喫緊の課題を克服する為、「上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、持続可能なまちづくりを全力で進めているところだ。SDGsと同じ方向性で各種施策を取り組み、また、内外に発信する事でこれを原動力として、地方創生を推進する。今後、「上里町総合振興計画」の中にも

SDGsと同じ方向性で各取り組みを推進する。



17の目標を表したSDGsロゴ

問 町としては、民生委員・児童委員が無理なく「やりがい」を感じながら活動して頂けるように、民生委員・児童委員協議会・関係各課・社協と調整を図りながら、サポート体制の強化や負担軽減等の環境整備に取り組む。



高橋 勝利

問 子育て日本一を目指す町長の基本的考えは

答 子育てに夢が持てる町づくりを目指します

質問 1

少子化対策について

問 子育て日本一を目指す取り組みについてお聞きします。今日の日本は未婚率の上昇、晩婚、晩産化、バブルの崩壊後の就職氷河期の影響など、様々な要素が絡み、少子化の流れに歯止めがかかっていない状況です。現在婚姻そのものが減少傾向にあり、制度を変えるだけでなく、子育てしやすい環境をつくるのが重要です。環境づくりにどのような事を重点に取り組んできたのか伺います。

答 私は子育てで支援日本一の町づくりを目標に掲げ、第一期上里町子ども・子育て支援事業計画に基づき各種施策に取り組んでまいりました。若い世代の結婚から妊娠、出産子育て、教育、就労まで切れ目のない支援を行う体制の構築が必要であり、具体的には18歳までのことも医療費の無償化、町基準第3子以降の子

ども保育料、副食費の補助を実施しました。また、公立児童館を5つの小学校区域に設置し、子育て支援センターや放課後児童クラブを実施しており、他市町村と比較しても安心して子育て出来る環境であると認識しております。



質問 2

町民体育館及びパブリック公園トイレについて

問 町民体育館トイレについてお聞きします。以前の会議

の中で同僚議員からトイレの改修についての指摘がありました。また、利用者数名から一度水を流すと次に溜まるのが遅くて困っているなどの指摘もありました。男子トイレは悪臭がひどく、町外の方も利用するので、これらの諸問

題を真剣に受け止めて頂きたいと思いますが如何お考えですか。

答 教育長 体育館トイレの清掃については、週4回業者により行っています。床、手洗い場などの清掃、トイレトペーパーの交換、定期的に臭いの元となる尿石を除去する為の薬剤散布や消臭剤の設置、便座カバーはアルコール除菌を行っています。トイレはタンク式の為、続けて使用する場合溜まるのに時間がかかります。

問 忍保パブリック公園トイレについてお聞きします。成人を迎えた青年と町長は対談を行い、その中で忍保パブリック公園トイレを綺麗にしてほしいとの要望がありました。青年の声を聞いてほしいと思いますが、如何お考えですか。

答 他のグラウンドのトイレ改良予定もあり、順序を考えて、忍保パブリック公園について出来るだけ環境整備を

していきたい。

質問 3

上里町の道路整備について

問 リバーサイドロードの進捗状況についてお聞きします。

答 平成15年当時の計画では事業所の営業に支障があることから、計画の見直しを図り、今年度設計業務委託を発注し、見直しを行っています。事業所と数回の協議を行いおおむね了解を得ているところです。

問 児玉工業団地アクセス道路の進捗状況についてお聞きします。

答 事業所との用地交渉ですが、令和2年度に契約して頂く為に昨年10月に説明を行い了解頂いています。

問 三田中通り線の用地取得状況をお聞かせください。

答 今年度取得した箇所を含め面積割合で65%となっております。早めに舗装すべきと考えていますが、雨水排水対策が重要ですので現場の状況に応じて進めていきます。



一般質問

沓澤 幸子



問 ごみ減量化計画の広域圏での検討状況は

答 行政研究会で踏み込んで発言したい

質問 1 防災関係について

問 災害で命を落とす人をなくす対策として、①身体的な配慮が必要な方を把握し、介護施設や環境を整えた避難場所の確保と送迎体制を。②高齢化が進む中、元気な高齢者の対応は、各地域で出来るように自主防災組織の立ち上げと並行して地域の話し合いの場を呼びかけては。

答 現在、在宅重度心身障害者手当の支給者、精神障害者保健福祉手帳2級の方、介護認定3〜5の在宅者の合計は494人です。全対象者宛に避難行動要支援名簿の登録希望等個別計画の作成を令和2年度中に完了予定です。社会福祉法人なども協定し必要な支援が行き届くように備えたい。防災講習会の実施など防災知識の普及に一層努めたい。

質問 2 環境基本計画の基本方針3について

問 第5次上里町総合振興計画の一人当たりのごみ排出量目標は、令和3年に902g以下、資源化率23.4%ですが、その見通しは。
・計画の構成市町村とごみ減量化と適正処理に向けた意見の統一、剪定枝などのリサイクルの検討及び、バイオガス発電施設の広域圏での検討状況と町長の見解は。
・ごみ減量には、①新たに分別に参加してもらう人を増やすこと。②既に分別している人の分別品目を増やすことです。その他のプラスチック類の回収は減量に効果的では。
・今後の啓発計画は。

答 平成29年度の1人当たりの排出量は969g、県内ワースト9位です。1市3町の廃棄物担当者研究会の重点取り組み事項の中に、容器包装プラスチックのリサイクル導入とごみ分別アプリがあります。ごみ搬入量の約3割の事業系ごみの減量も今年度の重点事項です。1市3町は50位

内という厳しい状況でもあり、3月の行政研究会で、もう1歩踏み込んだ発言をしていきたい。ふれあい祭り等町のイベントでの啓発も検討したい。



質問 3 生活支援の拡充について

問 交通弱者対策に合わせて、在宅重度心身障害者への自動車等燃料費助成、月あたり自動車20L・バイク5L。(リットル当たり50円)及びタクシー利用金補助事業、730円券を年24枚発行する制度の拡充を図ること。ガソリンはリットル当たり約140円であり、近隣の交通弱者対策

では、美里町は500円券を年72枚、神川町は700円券を年48枚です。
答 在宅重度心身障害者の事業は、県の補助事業規定を参考に児玉郡市でそろえているので、動向を注視し調査したい。
問 高齢者の難聴の放置は、うつ病や認知症の危険性が高まります。74歳以上の難聴者率は41.6%ですが、補聴器所有率が低いので、高額な補聴器の購入補助制度を実現し、お試しや相談できる体制を作って高齢難聴者の社会参加を支援すること。また、補聴器に直接音声を送り込むヒアリングループを公共施設に普及させて聞こえのバリアフリー化を。
答 補聴器購入助成については、他の自治体の導入事例、利用状況等実態把握に努めるとともに、医師会等と相談して補助制度も含めて検討する。ヒアリングループシステムは有効なものと考えますので、導入に向けて検討したい。



飯塚 賢治



問 ドローンを消防署等に配備も有効

答 神川町は災害情報をドローンがつかんだ

1 骨髄バンクドナー登録について

問 骨髄バンクでは、ドナーの登録者の確保が大きな課題となっている。それは登録できる年齢が、18歳から54歳までと決まっているからで、55歳になり次第登録から外れる。ドナー登録の実態に対する認識はどのように持っているか。また、上里町の血液のがんの患者数、造血幹細胞移植数、ドナー登録者数はどのくらいか。

答 町における血液のがん患者、造血幹細胞移植数は把握できないが、ドナー登録者数は、平成31年3月現在98人です。今後は若い方への啓発がより必要と考えている。ドナー登録者数を増やす取り組みを一層進めてまいりたい。

問 ドナー登録者を増やす対策として、ドナー休暇制度の導入についてお聞きしたい。勤務先にドナー休暇制度があることは、ドナーの心理的、

肉体的な負担軽減になる。地方公共団体もその制度があると思うが、上里町ではいかがか。

答 条例にドナー休暇制度が定めてある。町ではドナー休暇を申請した職員はいないが、助成制度もあり、移植を必要とする患者さんの命を一人でも多く救うためにドナーとなりやすい環境整備を進め、職員をはじめ、町民の皆様への周知、啓発活動に引き続き取り組んでいく。

2 ワクチン再接種の助成について

問 治療のため、造血幹細胞移植を行った場合、移植前に実施された、定期予防接種により獲得した免疫は低下もしくは消失し、感染症にかかりやすくなる。そのため、20歳未満の再接種が必要な方への助成を実施する市町村もあるが、上里町ではどのように取り組むのか。

答 ワクチン再接種費用は高

額になるため、患者家族の経済的負担はさらに多くなることは認識している。県内でもワクチン再接種の助成を行っている市町村があるが、埼玉県では、助成を実施する市町村に対する補助はないとのこと。今後は、近隣の自治体の動向を見ながら検討していく。

3 災害発生時等の情報共有について

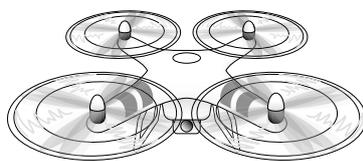
問 内閣府の戦略的イノベーション創造プログラムにて、基盤的防災情報流通ネットワークが開発された。この情報を共有し活用できるように、町の防災情報システムを改修すべきでは。

答 現段階では市町村システムと直接連携を図ることは想定しておらず、都道府県システムを介して情報共有を図っていくよう進めているとのこと。

問 発災直後の近寄ることのできない被災現場で救助を求める人の捜索や被災現場の状

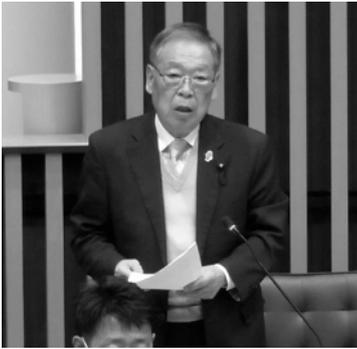
況を掌握するために、ドローンを消防署等に配備することもあるかと考える。

答 ドローンの配備は、情報共有の有効な手段として考えるが、予算等含めて今後検討したい。神川町では、いち早く災害の情報をドローンがつかんだと伺っている。そうしたことを参考にしたい。



問 災害時応援協定を結んでいる業界団体との情報を共有するシステムの導入について、一番身近なツールであるスマートフォンを活用できないか。

答 費用対効果を見極めながら、有効なツールについて検討してまいりたい。



齊藤 崇

問 藤木戸～勝場線の整備は

答 整備予定道路であるので計画通り進める

1 伝統文化の承継について

問 伝統文化を後世に継承していく事は、我々の責務と考えるが。

答 先人たちの努力により引き継がれた古き良き伝統文化、歴史を大切にし、絶やさぬよう各種取り組みを考えている。

問 地域に残る身近な伝統文化が数多くあり、消滅が危惧されるものもあるが。

答 教育長 日本の伝統的な年中行事、節分、桃の節句、七夕などの伝統文化について、教育委員会として後世に継承できるよう努力してきた。今後も伝統文化の調査・研究を行い、図書館、郷土資料館や公民館での事業や学校、各種団体と連携して、後世に継承できるよう努力して行く。継承が困難な伝統文化については、記録保存など措置を講じる。

2 読書の推奨について

問 パソコン、スマートフォン、インターネットなどの普及で読書、本離れが顕著だが、町民に対しどのようなプロモーションで読書を推奨して行くのか。

答 教育長 読書は言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かにする等、大いに効果がある。しかし、近年情報メディアの発達や生活環境の変化等により読書を親しむ機会が減ってしまった事と思われる。本に親しむ施策として、図書館の活用とその充実を図っていくことが重要と考える。平



町立図書館

成30年度の図書館の利用状況は、来館者数約9万1000人、年間貸出し人数は約3万5000人である。

問 本町の児童・生徒について読書量は、学年が上がるに連れて読書冊数、読書時間が減っているように思えるが。

答 教育長 ご指摘の通り、学年が上がるにつれて冊数は減っているが、本一冊の内容やページ数のボリュームが大きくなるため、一概に冊数だけで読書離れが進んでいるとは思えない。一ヶ月に一冊も本を読まない児童は学年が上がるにつれて不読率が上がるとは言いがたく、読書離れが進んでいるとは言えない状況です。中学生になると不読率が極端に上がっている。要因としては部活動や家庭学習等の時間が関係してくるのではないか。

問 町道の整備について、町長は令和元年を道路元年と明言したが。

答 令和元年を道路元年と位置付け、町民の生活に直結する町の道路網整備について取り組んできた。道路元年としたのは、子育て日本一を目指すためである。子育てをする世代が働く場所が必要となり、企業誘致を推進、そのためには道路整備が必要不可欠である。単年度だけでなく来年度以降も引き続き継続して行く。

問 町道整備について、道路整備事業は企業誘致、交通安全にも欠かせない重要な施策と考えるが。

答 生活道路の未舗装道路等は地元の要望があった道路から、優先順位をつけて実施している。藤木戸～勝場線の整備、リバーサイド道路については並行して進めていく。三田中通りについては事業化に至っていないが冠水状況など、現場の状況を鑑み、整備していく。

3 道路整備の進捗状況について



高橋 茂雄

問 サポカー補助金について

答 町単独としての補助制度は創設しない

質問 1
交通問題について

問 高齢者のブレーキの踏み違い等で、重大な事故が発生する可能性があります。国としては随時、A-1を活用した自動ブレーキ等を備えた車に買い替えを指導しています。が、町としての取り組みは。

答 国では、令和2年1月30日にサポカー補助金を盛り込んだ、令和元年度補正予算が成立した。サポカー補助金は、高齢運転者の安全対策を行うことを目的とし、令和元年度は満65歳以上となる運転者が安全運転サポート車を購入する際に、新車購入で最大10万円、後付けペダル踏み違い急発進抑制装置導入で、最大4万円の補助を行う制度になっている。町としても、県や他市町村の動向を注視しながら、安全運転支援装置などの補助制度について研究してきたが、国が補助制度を公表したため、町単独としての補

助制度を創設する予定はない。

問 町道のセンターラインや停止線等が消えていて見えない。特に通学路の横断歩道、ラインが消えているのは危険である。「この先横断歩道があり」の菱形の二つのラインも消えていて見えない。町としてどのくらいのサイクルで引き直しているのか。簡易的にでも引けないのか。

答 道路区画線のうち、停止線、横断歩道、黄色のセンターラインについては、本庄警察署が所管となっている。そのため、これらの道路区画線の薄い箇所は、発見次第、本庄警察署に補修を早期に実施していただくよう要望している。外側線や白色のセンターライン、グリーンベルトなどは町の所管となる。簡易的に区画線を引くと、風雨などによりすぐ消えてしまう。道路区画線の耐用年数は、交通量などの状況で変わるため、補修サイクルは場所ごとに変わ

る。そのため、通学路や交通事故多発箇所、修繕要望箇所を優先的に修繕しており、対面通行の幹線道路や見通しの悪い住宅密集地などに目配りして修繕していく。



消えかけた横断歩道

答 上里交番は2名の警察官を配置し、6名体制で業務を行っている。事件や事故が重なった場合などは、2名とも出動し留守になることもある。埼玉県警では、空き交番対策として、交番相談員を配置している。交番相談員は、警察官のOBで、住民の困りごとや意見、要望等の聴取や助言、紛失届の受理や拾得物の受理、返還、交番前における防犯、交通安全指導等を行い、上里交番には2名配置されている。

交番の新設について、県警に確認したところ、基本的には新設のみについては検討していない。仮に新設するとなると、他の交番と統廃合すると、他の交番と統廃合すると、用地について、民有地は契約上の問題が生じるおそれがあるため、市町村が所有している用地で対応しており、現在、埼玉県内のショッピングモールを無償で借りて交番を設置しているところはない。

質問 2
生活環境について

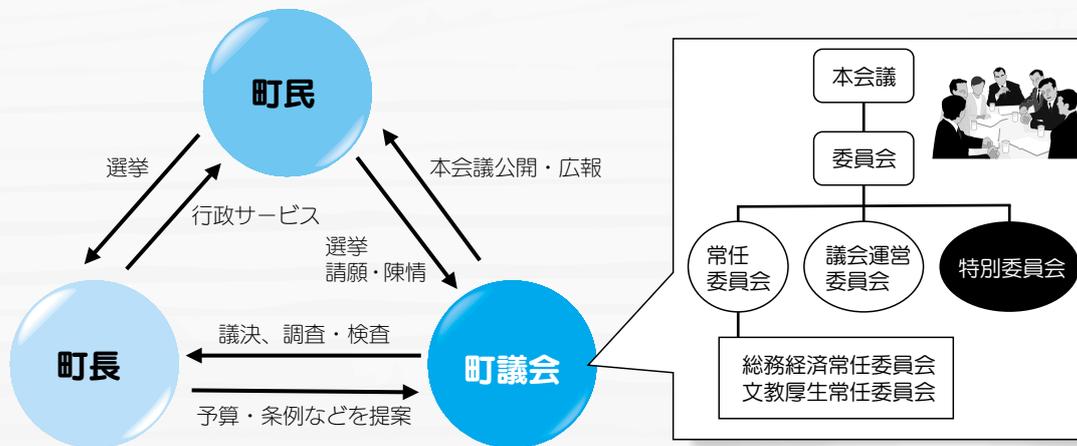
問 上里交番は、分署の役割を果たしているのか。留守のときがあるのでは。また、新設交番を南口、またはウニクスや七本木モール、イオンモールなどに出来ないか。



特別委員会って何？



町議会では、町民の皆様の意見を行政サービスに反映できるように、町政の方針を決定し、町政が適正に行われているかチェックしています。



町の議会は、条例で常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会を置くことができます。

常任委員会

上里町議会においては、総務経済常任委員会（定数7人）及び文教厚生常任委員会（定数7人）が置かれています。各部門に属する町の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

議会運営委員会

会議の日程や案件を決めるなど、議会の運営を円滑、効率的に進めます。

特別委員会とは？

特に重要な問題である場合など、臨時特定の事件について審査・調査を行います。特別委員会が行った調査・研究等の結果は、町長に提言や意見として出されるなど、町政に反映されます。

必要がある場合に議会の議決で置くことができ、上里町には現在、議会活性化特別委員会及び公共交通等対策特別委員会が設置されています。

議会活性化委員会

（定数6人）

設置日 平成30年9月25日

設置目的 議会活性化に向けた諸課題について調査研究を行う。

主な活動 議会基本条例案（議会の役割を再定義し、公開度を高めて説明責任を果たす等、議会活性化のための運営ルール）の作成。議会のペーパーレス化に向けて、タブレット端末及びソフトウェア導入の検討。

計21回の委員会の開催及び埼玉県三芳町と富士見市に視察を実施。

公共交通等対策特別委員会

（議員全員）

設置日 令和元年6月12日

設置目的 誰もが移動しやすいまちづくりの実現や少子高齢化が進行する将来社会を踏まえ、各地域の実情に合わせた公共交通のあり方などについて調査研究を行う。

主な活動 2つの分科会ごとに現地調査や課題研究を行い、計7回の委員会を開催。北本市及び前橋市に視察を実施。

令和元年12月、町長へタクシー券補助制度の実施に関する要望書を提出。

議会日誌

3月

- 5日 定例会初日(開会、町長の施政方針及び行政報告、一般質問)
- 6日 一般質問
- 9日 全員協議会
- 10日 議案審議(条例改正等)
- 11日 議案審議(令和2年度当初予算)
議会活性化特別委員会
- 12日 全員協議会
- 16日 全員協議会
- 17日 議案審議(令和2年度当初予算)
- 18日 総務経済常任委員会
公共交通等対策特別委員会
- 23日 全員協議会
3月定例会最終日(閉会)
- 25日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

4月

(コロナウイルス感染拡大防止のため、会議等中止しています)

5月

- 13日 全員協議会、臨時会
- 15日 議会運営委員会
議会活性化特別委員会
- 18日 議会だより編集委員会



除き、多くの地域で県民の感染が確認されており、毎日の生活に大きな影響を及ぼしています。
この議会だよりが届く頃には、感染者が大幅に減少している事を願っています。
3月議会は令和2年度予算を審査いたしました。この予算が町民が安心して生活できるように活かされてほしいと思います。
高橋勝利

新型コロナウイルス発生に伴い日本はもとより世界中が大変な窮地に追い込まれている状況です。
埼玉県も一部の地域を

議会だより
編集委員会

- 委員長 猪岡 壽
- 副委員長 高橋 勝利
- 委員 高橋 仁
- 委員 齊藤 幸子
- 委員 齊藤 崇
- 委員 高橋 浩之

6月定例会の日程(予定)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---------------------|--------------|---------------|-------|-------------------|-------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 (開会) 一般質問 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| | | 常任委員の 選任等 | 議案審議 特別委員会 | 特別委員会 | 常任委員会 | 常任委員会 |
| 14 | 15 (閉会) 報告・採決 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、昼休憩後、原則再開は午後1時30分からとなります。
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。

6月定例会一般質問一覧

| | 氏名 | 質問事項 |
|-------|-------|------------------------------|
| 5日(金) | 沓澤 幸子 | ①新型コロナウイルスについて |
| | | ②交通弱者対策について |
| | 納谷 克俊 | ①新型コロナウイルス感染症による影響と今後の課題について |
| | 高橋 勝利 | ①新型コロナウイルス対策について |
| | 仲井 静子 | ①ご遺族支援の取り組みについて |

議会を動画でご覧いただけます

上里町議会では、本会議の一般質問の様子をインターネットで録画配信しています。



<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/kamisato/WebView/rd/council.html>

